

中央工学校 O S A K A
学校関係者評価書
(令和 7 年度)

評価対象期間

自：令和 7 年 4 月 1 日

至：令和 8 年 3 月 3 1 日

令和 8 年 8 月 2 7 日

学校法人 中央工学校

中央工学校 O S A K A

学校関係者評価委員会

1. 目的

学生が質の高い実践的な職業教育を享受できるよう、学校運営の改善と発展を目指すため学校評価（自己点検評価・学校関係者評価）を実施する。

実践的な職業教育を目的とした、自らの教育活動その他の学校運営について、社会のニーズを踏まえた目指すべき目標を設定し、その達成の適切さ等について評価する。評価結果に基づき、学校として組織的・継続的な改善を図る。

2. 学校関係者評価

卒業生・企業・業界団体等の学校関係者等を選任し、令和7年度の学校業務について、学校が自ら行った自己点検評価の結果について評価を行い、改善に向け専門的な助言を行う。なお、評価の観点は次の項目による。

- ・自己点検評価の内容が適切かどうか
- ・自己点検評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか
- ・学校の重点目標や具体的方策等が適切かどうか
- ・学校運営の改善に向けた実際の取り組みが適切かどうか

3. 組織

(1) 学校関係者評価委員会

座 長：	田鍋 稔	鹿島建設株式会社 関西支店 建築設計部 デジタル設計グループグループ長（副部長）
委 員：	田中 由之	株式会社ピーピーアイ計画・設計研究所 代表取締役所長
	岩尾 美穂	オフィスいろどり代表
	朝倉 充広	有限会社 朝倉工務店 取締役社長
	井戸 正	株式会社A1・ID設計 代表取締役
	辻井 安喜	学校法人 浪工学園 星翔高等学校校長
	大川 朋宏	服部緑地パークセンター 副パークセンター長
事務局：	中村 聖吾	中央工学校OSAKA校長

原	充介	中央工学校OSAKA教務部長	
檜崎	悟志	中央工学校OSAKA教務室長	
中島	征治	中央工学校OSAKA教育室長	
上本	佳直	中央工学校OSAKA教務室係長	
太田	育子	中央工学校OSAKA建築系主任（教育）	
諸岡	邦行	中央工学校OSAKA建築系主任（進路・広報）	（敬称略・順不同）

（２）任期

委員（座長含む）任期は、令和８年４月１日～令和１０年３月３１日とする。

４．実施

令和８年８月６日（木）、中央工学校OSAKA１号館３１教室において、学校関係者評価委員会を開催した。

５．学校関係者評価

（１）学校関係者評価委員会議事概要

ア．議事の進行

中村校長の挨拶に続いて、事務局の原教務部長から、学校評価（自己点検評価・学校関係者評価）の概要について説明があり、併せて学校関係者評価シートの記入について留意事項を確認した。

イ．自己点検評価書について

①学校概要の確認

事前に送付されていた自己点検評価書をもとに、「建学の目的（アドミッションポリシー）」「基本的運営方針」「具体的方策（厳しい実務教育・人間涵養教育・楽しい学校生活・誇りの持てる学校）」及び学校の現状（「学生数」「教職員数」「学習概況」）について、学校が全般的に良好に運営されていること、教育内容の改善が継続的に行われていること等を確認した。

②自己点検評価結果の報告と学校関係者評価シートの記入

事務局の原教務部長をはじめ各担当者から、令和７年度自己点検評価書の下記項目について説明があり、その後、各委員による「学校関係者評価委員による評価」及び意見の記載を行った。（ ）内は自己評価書の評価項目番号。

（１）教育理念・目的・目標

(2) 教育課程、教育の実施、学修成果

■建築学科

■住宅デザイン科

■インテリアデザイン科

(3) 学生の受入れ、学生支援

(4) 教育実施組織・教員

(5) 教育環境

(6) 教育活動の基盤と情報の取組

③自己点検評価総括の確認

自己点検評価結果を踏まえた課題が確認できた。それぞれの課題について、改善に向けて努力することを確認した。

(2) 学校関係者評価結果

学校関係者による評価の観点に照らし合わせ、以下について確認した。委員の意見を集約すると次のとおりである。

ア. 自己点検評価の内容が適切かどうか

令和7年度の業務について自己点検評価書に基づき報告を受け、内容を確認した。概ね妥当で自己点検評価の内容は適切であると判断する。

イ. 自己点検評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか

学外からも様々な知見を取り込み、具体的な方策を検討し、実施することで今後も評価の向上を目指していただきたい。

ウ. 学校の重点目標や具体的方策等が適切かどうか

学校の重点目標や具体的方策等は、社会及び技術の変化などに対応し、新しい取り組みを考案、実施されており、適切であると判断する。今後も企業との連携を一層深め、教育に反映させてほしい。

エ. 学校運営の改善に向けた実際の取組みが適切かどうか

各項目において、問題点や課題が把握出来ており、改善に向けた取り組みについて確認できた。適切であると判断する。

令和7年度自己点検評価に対する学校関係者評価委員の評価

項目1 教育理念・目的・目標

評価項目	評価の基準	自己点検評価結果
1 教育理念、目的及び目標の設定等	教育理念等を踏まえ、当該専門学校としての目的及び目標を明確に設定し、養成する人材像を明確にしているか。	2

※評価結果 3：基準を満たしており、特筆すべき取組を行っている 2：概ね基準を満たしている 1：基準を満たしておらず改善が必要

学校関係者評価委員による評価 ※右のどちらかを○で囲んでください。	適 切 7名	不適切 0名
--------------------------------------	--------	--------

【自由記述】

・「基準」が何か？にもよるが、時世の流れに応じた「実務」の定義見直しが必要であろうと考える。今や必ずしも伝統的なカリキュラムにとらわれる必要はなく、学生が卒業後に実践できる技術、また少し先の将来に役立つ素養を身につけられることを基準と考えられたい。

・3でもよいように思います。(幅広い取り組みをされていると思います。)

・AIをはじめとする様々なテクノロジーの進化、変化で学ぶべき知識や技術も日々変化していつていますが、引き続き社会・業界で即戦力となれる人材教育に力をいれていつてください。

・メディアでは荒れた教育現場の情報を散見することがあるが、貴校の学生は相対的にまじめな印象である。先生方のご指導の賜物と感じている。

・学校全体としての教育理念としては、117年の伝統、実績を踏まえ適切に表現されている。

項目2 教育課程、教育の実施、学修成果

■建築学科

評価項目	評価の基準	自己点検評価結果
1 教育課程の編成と授業科目	1. 学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な教育課程編成・実施方針を作成した上で、教育課程を体系的に編成し、系統性・段階性に配慮した授業科目を配置しているか。	3
	2. 外国人留学生に対して、日本国内に就職する際に必要となる日本社会の理解の促進に資する授業科目を10単位以上開設しているか。	2
2 教育の実施	1. 授業科目内容に応じ、講義、演習、実験、実習又は実技など、適切な授業形態で教育が実施され、かつ、適切な教材が用いられるとともに、成績評価基準に基づき成績評価を行っているか。	3
	2. 企業等と連携した、実習、実技、実験又は演習等（以下「実習・演習等」という）の授業を行っているか。教育目標の達成に必要な企業等と連携した実習・演習等の単位時間または単位数の総授業時数に占める割合を具体的に設定しているか。	3
3 単位・卒業認定	学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な卒業認定方針（資格・免許等を含む修得させる職業能力を含む）を学科・コースごとに定め、当該方針に基づき卒業の認定をしているか。	2
4 学修成果目標の達成状況	1. 卒業認定方針を踏まえ、学科・コースごとに職業能力を含む資質能力の修得（資格・免許等の取得や知識・技術・技能の修得含む。）についての目標を定め、その目標が達成できているか。	2
	2. 学生が望む進路の実現に関する目標を定め、その目標が達成できているか。	2

※評価結果 3基準を満たしており、特筆すべき取組を行っている 2：概ね基準を満たしている 1：基準を満たしておらず改善が必要

学校関係者評価委員による評価 ※右のどちらかを○で囲んでください。	適切 7名	不適切 0名
--------------------------------------	-------	--------

【自由記述】

・「転科」の機会があることが良い。半年やってみて合う合わないを判断し修正できることでミスマッチ防止につながる。生成A Iの授業も必要不可欠だが、変化が著しい分野であり、学習内容、先生がキャッチアップすること等、課題は多そう。[各科共通] ツールを使って自分の考えを表現し、クライアントと向き合い修正し、よりよいもの作りにつなげていく不断の努力を惜しまぬよう、何事も正解を求めるのではなく、みんなで答えを導き納得するまで繰り返す芯の強さが身につくよう指導をお願いしたい。

・A IやB I Mの技術を持った学生が育ってくるのは業界としても今後必要と思われるので、よろしくお願いします。

・特にありません。時代に合わせた新しい取組を早々に取り入れた授業が、学校教育の特徴として効果を発していくことを期待いたします。

・入社前のイメージと入社後のギャップに悩む学生が多いと聞く→離職率が高い。何か改善策があればと憂える（全科共通の課題かと思う。）

・B I M利用技術者2級合格率100%は素晴らしいと思いますが、受験者数はどれくらいですか。分母が必要では。

・A Iの効果的な活用能力を継続的により一層向上させてください。

項目2 教育課程、教育の実施、学修成果

■住宅デザイン科

評価項目	評価の基準	自己点検評価結果
1 教育課程の編成と授業科目	1. 学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な教育課程編成・実施方針を作成した上で、教育課程を体系的に編成し、系統性・段階性に配慮した授業科目を配置しているか。	2
	2. 外国人留学生に対して、日本国内に就職する際に必要となる日本社会の理解の促進に資する授業科目を10単位以上開設しているか。	3
2 教育の実施	1. 授業科目内容に応じ、講義、演習、実験、実習又は実技など、適切な授業形態で教育が実施され、かつ、適切な教材が用いられるとともに、成績評価基準に基づき成績評価を行っているか。	3
	2. 企業等と連携した、実習、実技、実験又は演習等（以下「実習・演習等」という）の授業を行っているか。教育目標の達成に必要な企業等と連携した実習・演習等の単位時間または単位数の総授業時数に占める割合を具体的に設定しているか。	3
3 単位・卒業認定	学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な卒業認定方針（資格・免許等を含む修得させる職業能力を含む）を学科・コースごとに定め、当該方針に基づき卒業の認定をしているか。	2
4 学修成果目標の達成状況	1. 卒業認定方針を踏まえ、学科・コースごとに職業能力を含む資質能力の修得（資格・免許等の取得や知識・技術・技能の修得含む。）についての目標を定め、その目標が達成できているか。	2
	2. 学生が望む進路の実現に関する目標を定め、その目標が達成できているか。	2

※評価結果 3：基準を満たしており、特筆すべき取組を行っている 2：概ね基準を満たしている 1：基準を満たしておらず改善が必要

学校関係者評価委員による評価 ※右のどちらかを○で囲んでください。	適切 7名	不適切 0名
--------------------------------------	-------	--------

【自由記述】

・実務を行う企業との交流、二級建築士専科への誘導など「実務」を意識した教育内容を実施していると評価できる。ソフトウェア組み込みのA I利用も実践的。ツールを使うことにとどまらず「提案力」(課題把握→考察→アイデア→表現)を磨くべく指導していると評価できる。[各科共通] ツールを使って自分の考えを表現し、クライアントと向き合い修正し、よりよいもの作りにつなげていく不断の努力を惜しまぬよう、何事も正解を求めるのではなく、みんなで答えを導き納得するまで繰り返す芯の強さが身につくよう指導をお願いしたい。

・二級や一級建築士の取得が学生の時から受験できるようになってきましたので、早い取得を目指してほしいです。なかなか働きながらの取得は難しくなっています。

・社会に出て最初に出会うであろうお客様は、年齢的にも人生的にも自身より経験のある人になると思うので、コミュニケーションをとる上でも、色々不安な面も多いと思います。そんな不安を、少しでも多くの専門知識やスキルでカバーできるよう、二級建築士やインテリアコーディネーター等の資格を得ることはよい方向性に感じます。

・インターンシップ等への参加を必須または推奨ということですが、6 ページの学習状況の各研修に「インターンシップは昨年に続き中止とした」と記述があり整合性は。

項目2 教育課程、教育の実施、学修成果

■インテリアデザイン科

評価項目	評価の基準	自己点検評価結果
1 教育課程の編成と 授業科目	1. 学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な教育課程編成・実施方針を作成した上で、教育課程を体系的に編成し、系統性・段階性に配慮した授業科目を配置しているか。	3
	2. 外国人留学生に対して、日本国内に就職する際に必要となる日本社会の理解の促進に資する授業科目を10単位以上開設しているか。	2
2 教育の実施	1. 授業科目内容に応じ、講義、演習、実験、実習又は実技など、適切な授業形態で教育が実施され、かつ、適切な教材が用いられるとともに、成績評価基準に基づき成績評価を行っているか。	3
	2. 企業等と連携した、実習、実技、実験又は演習等（以下「実習・演習等」という）の授業を行っているか。教育目標の達成に必要な企業等と連携した実習・演習等の単位時間または単位数の総授業時数に占める割合を具体的に設定しているか。	2
3 単位・卒業認定	学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な卒業認定方針（資格・免許等を含む修得させる職業能力を含む）を学科・コースごとに定め、当該方針に基づき卒業の認定をしているか。	3
4 学修成果目標の達成状況	1. 卒業認定方針を踏まえ、学科・コースごとに職業能力を含む資質能力の修得（資格・免許等の取得や知識・技術・技能の修得含む。）についての目標を定め、その目標が達成できているか。	2
	2. 学生が望む進路の実現に関する目標を定め、その目標が達成できているか。	3

※評価結果 3：基準を満たしており、特筆すべき取組を行っている 2：概ね基準を満たしている 1：基準を満たしておらず改善が必要

学校関係者評価委員による評価 ※右のどちらかを○で囲んでください。	適切 7名	不適切 0名
--------------------------------------	-------	--------

【自由記述】

・[各科共通] ツールを使って自分の考えを表現し、クライアントと向き合い修正し、よりよいもの作りにつなげていく不断の努力を惜しまぬよう、何事も正解を求めるのではなく、みんなで答えを導き納得するまで繰り返す芯の強さが身につくよう指導をお願いしたい。

・手書きパースやアドビソフトなどが学校でしっかり学べるのはよいと思います。なかなか大学でも教えているところは少ないかもしれません。インテリアコースだけでなく建築、住宅デザインコースでも手書きパースができるようになってほしいです。その場での手書きスケッチは打ち合わせでも重要なスキルですので。

・企業との連携でより実践に近い経験を重ねることは、とてもよい学びになると思います。答えが決してひとつにはならないインテリアデザインという仕事をする上で、経験の数が自身のスキルを上げることにもなりますので、引き続き様々な経験を学生に与えてあげてください。

・表現力の向上に向けた更なるご指導をお願いいたします。

項目3 学生の受入れ、学生支援

評価項目	評価の基準	自己点検評価結果
1 学生募集及び入学者の選抜、収容定員の管理	1. 入学者の受け入れ方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入学者の選考を公正に行い、可否を決定しているか。	3
	2. 学生の受入れは、入学定員に基づき適正に行っているか。	3
2 自主的な学習の促進に対する支援	学生の学力や学習状況を把握し、入学前教育や補習授業を行うなど学習支援に取り組んでいるか。学生の円滑な学習に向け、シラバスの活用による学習成果の向上や自主的な学習に関する適切な支援を行っているか。	3
3 多様な学生に対する支援	1. 適切な体制を構築し、障がいのある学生、海外からの留学生、社会人経験者など、多様な学生に対する修学に関する支援を行っているか。	2
	2. 特に海外からの留学生について適正な在籍管理、進路（就職）指導を行うとともに、日本人学生との交流の機会が確保されているか。	3
4 学生生活に関する支援	1. カウンセラーの配置、相談室の設置など、学生の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営しているか。	1
	2. 留年者、退学希望者など学習の継続に困難な問題を抱える学生に対し適切な対応を行っているか。	2
	3. 学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、学生の心身の健康管理体制を整備し、適切に運用しているか。	2
	4. 学生の経済的側面に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用しているか。	3
	5. 学生のキャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用しているか。	3

※評価結果 3：基準を満たしており、特筆すべき取組を行っている 2：概ね基準を満たしている 1：基準を満たしておらず改善が必要

学校関係者評価委員による評価 ※右のどちらかを○で囲んでください。	適 切 7 名	不適切 0 名
--------------------------------------	--------------	--------------

【自由記述】

・自己点検評価が控え目な項目「学生の相談に対応するための環境整備」は継続的な努力をお願いしたい。→カウンセラー設置されたとの事でひとまず安心。

留学生は他校では仲介する支援組織があるのでしょうか？就活については企業の動きが早く、抜き差しならない状況で情報収集力、機動性が必要になる。

満足に学んでいない早期に就職先を選ぶことに戸惑いを感じる人も多いであろう。エージェントなども最近が多いので迷う人もいると思われる。きめ細かく

接して頂きたい。

・適切に評価されていると思います。

・カウンセラーが入ることで学生の相談（選択肢）が増えるのは学生にとっても担任の先生方にとってもよいことだと思います。学生にとってカウンセラー室に行くことが、特別感なく当たり前にご利用できる場として活用されるとよいなと思います。

・学生の受け入れについて充足率は。

項目4 教育実施組織・教員

評価項目	評価の基準	自己点検評価結果
1 教員の配置、募集、採用	1. 教育課程を実施するのに必要な、資格・要件を備えた教員を確保するために基準等（教員の採用基準等）を整備し、適正に運用しているか。	3
	2. 教員の常勤・非常勤、年齢構成等、また教員一人当たりの授業時数等を把握しているか。また、教員の専門性、教授力を把握、評価しているか。	3
2 教員の組織編制等	1. 学校の目的に応じた分野の区分ごとに必要な教員組織を整備し、業務分担、責任体制を規程等で定めているか。	2
	2. 教員間で連携、協力体制を構築しているか。	3
3 教員の資質の向上	1. 学校の教育活動の改善、工夫を行う FD(Faculty Development) などの取組や、教員の研究活動、自己啓発等への支援を行っているか。	2
	2. 特に職業実践専門課程においては、企業等と連携して組織的に行っているか。	2
	3. 教員の授業及び指導力等を修得・向上するための研修を企業等と連携して、組織的に行っているか。	2

※評価結果 3：基準を満たしており、特筆すべき取組を行っている 2：概ね基準を満たしている 1：基準を満たしておらず改善が必要

学校関係者評価委員による評価 ※右のどちらかを○で囲んでください。	適切 7名	不適切 0名
--------------------------------------	-------	--------

【自由記述】

・教員の「働き方改革」も必要かと思う。効率化、アウトソーシングできるところはとり入れ（A I による議事録まとめ等）本来、教員が担う「人としての」

指導により集中できるよう配慮されたい。企業連携の研修など「職場の空気感を知る」機会が多い方がよいと思う。先生がまず社会の変化にも対応する必要がある。IT、ハラスメント等、世間の常識が変わるスピードにも要注意。

・先生方の新しい情報や技術の取得が学生さんのスキルにつながると思いますので頑張ってください。

・教員間で学生の様子（情報）を共有できることは、担当授業での指導にも有効ですので、様々な方法で定期的なミーティングに限らず、教員間のコミュニケーションの場が用意されるとよいと感じます。

・お忙しいとは思いますが、よろしくお願いします。事務所協会との連携が必要でしたら仲をつなぎます。

・「授業に関するアンケート調査」を実施していることは評価できるが、教員へのフィードバックはどのようにされているのでしょうか。例えば評価の低い教員がおれば、適切に指導されているのでしょうか。

項目5 教育環境

評価項目	評価の基準	自己点検評価結果
1 教育環境の整備	1. 教育上の必要性に対応できる施設・設備、機械器具等を備えているか。	2
	2. 学生の学習支援のための施設(自習室等)を整備しているか。また、学生の休憩、食事のためのスペースを確保しているか。	2
	3. 図書室を設置し、専攻分野の教育に必要な専門書及び参考図書を配架し、必要に応じて学生が閲覧できるようにしているか。	2
2 安全対策、防災組織	1. 学校保健安全法に基づく学校安全計画を策定し、学校における安全対策を適切に行っているか。	2
	2. 火災の発生や防災に関する組織体制を整備し、適切に運営しているか。	2
3 施設・設備等の点検、改善等	施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等を適切に行っているか。	2

※評価結果 3：基準を満たしており、特筆すべき取組を行っている 2：概ね基準を満たしている 1：基準を満たしておらず改善が必要

学校関係者評価委員による評価 ※右のどちらかを○で囲んでください。	適 切 7 名	不適切 0 名
--------------------------------------	---------	---------

【自由記述】

・「教育環境」はハードウェアにとどまらない。IT環境やセキュリティ、話しやすい雰囲気等、運用面も充実が必要。施設面の不具合は昨今まさに社会の

課題となっているので、学生と一緒に修繕費用を含め、維持管理方針を検討してはどうか。社会や身のまわりのインフラ、当たり前と思っていたことを適切に

維持・更新するのは容易ではないと知るきっかけになると思う。実際に学生が設計・施工に参加できる機会があればと思う。(学内/外でも可)

・適切に評価されていると思います。建物の修繕はできるだけオリジナルを残す形でされているのでしょうか？防災上の避難計画については、熊本のイオンの事例の様に、一旦避難完了してからの次の動き方について、どのようにするのかまで考えておく必要があるのかもしれない。

・特にありません。自然災害が最近増加しているように思いますので、引き続き定期的メンテナンスや点検に努められてください。

・万が一のことが起これば、マスコミの餌食になるので、対策は充分以上にすべきかと思われる。起こってはいけないが、万が一の時のマスコミ対策、ロールプレイングも検討されてはどうか。

・24ページに示されている様に施設設備を充実させているという記述があるにも関わらず、すべて2という評価でいいのでしょうか。学校保健安全法に基づく学校安全計画は検討するとあるが、計画が未策定ということであれば、評価2は妥当ですか。

項目6 教育活動の基盤と情報の取組

評価項目	評価の基準	自己点検評価結果
1 中期事業計画と財務基盤	当該専修学校の教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立しているか。	2
2 学校運営	学校運営の組織体制を整備し、適切な運営が行われているか。(職業教育に関するマネジメント(教育の企画・設計・運営等)における責任体制を含む。)	2
3 学校評価の実施と改善活動	1. 学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等外部からの意見を反映するなど、関連企業等団体、地域社会等からの意見を当該専修学校の運営やその改善・向上において活用しているか。	2
	2. 特に職業実践専門課程においては、教育課程編成委員会を年2回以上開催しているか。	2
	3. 学校評価を実施し結果及び改善状況についての情報を公表しているか。	2
	4. 学校評価の結果に基づく改善への取組を組織的かつ継続的に行っているか。	2
4 社会からの理解と情報の公表	1. 当該専修学校の教育活動、学修成果、学校運営等の状況に関する情報を積極的に公表しているか。	2
	2. 教育目的・目標の達成状況や活動状況について関連する教育機関、産業界等をはじめ、社会全体からの理解を得るよう取組んでいるか。	2

※評価結果 3：基準を満たしており、特筆すべき取組を行っている 2：概ね基準を満たしている 1：基準を満たしておらず改善が必要

学校関係者評価委員による評価 ※右のどちらかを○で囲んでください。	適 切 7 名	不適切 0 名
--------------------------------------	---------	---------

【自由記述】

- ・学費もUPしているのでしょうか。補助金は。教育はモノよりコトに重点があるべきと考えるが、のびのび学べる環境、人的リソースを確保するにはカネも必要。一時効果ではあるが、例えば建学120周年（OSAKA50周年）で卒業生、その就職先から寄付を募る案はどうか。（寄付は卒業30年の学年に絞り、毎年実施する方法も考えられる。）←ある程度落ち着いて余裕も出てきている年代。ファイナンシャルプランナーや税理士に提案を求めているかどうか。卒業生に学校を宣伝してもらう方法はないか。
- ・適切に評価されていると思います。毎年改善されているところがあり、継続的な質の向上が図られていると思います。
- ・特にありません。安定的な経営を続けるには厳しい環境かと思いますが、引き続き先生方のご尽力を応援いたします。
- ・収入増につながる何かを校友会としてお手伝いできればと思う。
- ・学校単体の収支改善、学生数の確保、退学防止が相互に関連する重要課題であると理解しました。
- ・学生生活を通して社会貢献に興味を持って欲しい。①学生生活の充実：産学連携授業、校外学習、研修、合宿、見学、産学連携など評価します。②地域との関わり：地域として何をしているか知るところから（東寺内：公式アカウントライン・寺内：ホームページ）生まれ育った場所の幼い頃の思い出などが重なり、更に学生生活の思い出の中に残る卒業になることで、強い社会人として活躍される人になってほしい。（人に優しい、人を尊敬できる前向きな社会人）
- ・教育の質と経営の健全化の両立は非常に難しいと思いますが、バランスよくご対応お願いいたします。